

こくりにゆうだより



大阪府立池田高等学校 2年 進藤 凧紗

「2月といえばバレンタイン。また街がチョコレートの甘い匂いに包まれますね。」



今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



外国人のための 1日離婚相談ホットライン

2月19日(土) 10:30~16:30



当協会が代表事務所を務める「協議離婚問題研究会(リコン・アラート)」が、大阪弁護士会と共催して実施しているもので、今年で5回目となります。

夫婦関係のあらゆる問題に弁護士などの専門家と通訳者が12言語で対応します。

電話相談: 06-6366-2021 (この日のみ使えます・予約はいりません)

参加費: 無料

対応言語: 日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、フィリピン語、ベトナム語、タイ語、
インドネシア語、ネパール語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語

面談・zoom相談は要事前予約(メ切2/17 10:00) 予約先TEL:06-6843-4343 E mail:atons@a.zaq.jp



昨年度の開催のようす

12/18(土)開催 世界を食べよう～ルーマニアの美味しいお話～

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を鑑みて、今年度は料理を通じた異文化理解「世界を食べよう」をトークイベントとして開催しています。第二回目となる12月18日は、ポボヴィッチ・マリアさんを講師にお迎えし、ルーマニアの“おいしい話”について伺いました。

ルーマニアの首都ブカレストや観光名所の紹介から始まり、食文化、今回はとくにクリスマスの食文化についてのお話を中心に、ルーマニアの伝統的な料理をたくさんの写真と共に紹介していただきました。参加者10人のうち、なんと4人の方がルーマニアに旅行や仕事で行った経験があり、質問タイムには参加者の“おいしい思い出話”で盛り上がりました。また、インターンシップとして参加していたトルコ留学の経験のある学生からは「トルコにもルーマニアと同じ“チョルバ（スープ）”という料理があるが、味付けが違う」といったコメントや、同じくインターンシップ生の中国人留学生からは「私の故郷にも同じような豚の料理がある」との感想が寄せられ、世界の料理の共通点、相違点についても知れるとても興味深い時間となりました。



(協会職員・山根絵美)

12/11(土)開催 哲学カフェ「顔って見せないといけないの？」

12月11日(土)に「哲学カフェ」をオンラインで開催しました。当協会では「多様な人々が尊重される地域づくり」の一環として、参加者が対等な立場で自身の経験に基づいた考えを話し合う場である哲学カフェを開催しています。

今回のテーマは「顔って見せないといけないの?」。大学生から60代と幅広い年代の4人が参加し、進行役の川崎さんの進行のもと話し合いました。

顔を見て話すことの安心感や、逆にマスクで顔が隠れていて良かったと感じる経験、SNS等のオンライン上に顔を出すことへの不安などが話され、顔を出すこと、見ることにどんな機能があるのかについて考えを深めました。安心して話すための哲学カフェのルールと進行役の調整で、日常生活の中ではなかなか難しい「対話」を体験できる機会となりました。(協会職員・石田みどり)

哲学カフェ in とよなか国際交流センター
～オンライン編～

顔って見せないといけないの？

マスク着用が求められる中で、覆い隠さず顔を見せることは珍しいなりました。ひとの顔が見えないと不安になる一方で、自分の顔を見せることはときに負担です。顔を見せること、そして顔を見せることにはどのような意味があるのでしょうか。顔を見せないといけないのがどっちか、その両方を立ち止まって考える機会をみましょう。

2021.12.11(土) 14:00-15:15

参加費は無料です。会場環境と機材をご準備ください。Zoomを使用します。
定員：10人(要申込み、先着順)
申込：12月9日(木)までメールにて akami@tynaka.jp (とよなか国際交流センター) へ
申込先：「哲学カフェ事務局」とし、お名前をお知らせください。
申込対象：Zoomのアカウントをお持ちの方です。
申込先：とよなか国際交流センター(協会の事務局)
Eメール: akami@tynaka.jp TEL: 08-4843-4403
会場：とよなか国際交流センター

外国人向けセミナー「老後を考えよう2」& フィリピンコミュニティクリスマス会

12/18(土) 14:00-15:30 セミナー「老後を考えよう2」

11月の庄内地域での開催に続き、とよなか国際交流センターにて実施しました。年金・介護/医療保険について、英語・中国語・韓国朝鮮語・フィリピン語の資料と通訳に対応し、当日は36人が参加しました。

フィナンシャルプランナーの福一由紀さん(マネーラボ関西・代表)より、社会保険の制度の概要についてお話がありました。年金の免除制度、障害基礎年金、高額療養費についてなど、知識があるかないかでその後の生活が大きく変わる可能性があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。また、「海外で治療を受けた場合、税金の医療費控除の対象となりますか」(回答：申請をすれば可能です。)、 「帰国した場合、海外で日本の年金を受け取れますか」(回答：受給要件を満たしていれば海外からの申請・受給が可能です。)などの質問も寄せられました。

この他、豊中市長寿安心課より、65歳以上の高齢者向けのサービスの案内がありました。参加者からは、「普段から疑問に思っていたことが分かった」「非常にためになったので、また開催してほしい」などの感想が寄せられました。

12/18(土) 16:00-17:00 フィリピンコミュニティクリスマス会

セミナー後、同じ会場にてフィリピン人の中老年コミュニティ「Filipino Young At Heart's Club (FYAHC)」のクリスマス会を開催しました。例年のような数十人規模の賑やかなパーティーとは違い、今年は人数限定・飲食なしでの実施となりましたが、いつもと変わらない参加者の笑顔と温かい雰囲気に溢れていました。





子育て世帯への臨時特別給付金が支給されることになり、対象家庭に自治体から書類が届いていて、それとともに、相談が寄せられています。「この書類は何？」「どうすればいいの？」

今回もまた、書類を見て正直うんざりする気持ちになりました。私はこういう書類を読む識字能力がありますが、それでもめんどくさいと感じますし、記入支援していて、本当に合っているかどうか100%自信が持てない気持ちにもなります。日本語が母語ではない外国人にとっては、解読しようという気持ちにもなれないのではないのでしょうか。

税金関係の法制度は、わざわざ複雑にし、納税者が理解できないことで税金を支払うように仕向けている…なんていう話がありますが、行政文書を見るたびに、そういう話は本当なのでは？！と思ってしまいます。保育所の入所書類なんて、恐ろしいほどの量と内容です。

これ、何とかならないものでしょうか。もっとわかりやすく、シンプルに。行政の文書に、ユニバーサルデザインを導入できないのでしょうか。IKEAの取り扱い説明書は、文字をほぼゼロにしているからこそ、とてもわかりやすくなっています。こんなふうに、言葉での説明ではなく、デザインとしてできないものでしょうか。

例えば納付書類。相談の定番テーマです。何かわからずため込んで相談に持ってきます。みんなちゃんとやりたいと思っているのです。でもわからなくて困っています。

提案として、全国どの自治体でも行われている手続きは、フォーマットを同じにするのはどうでしょうか。税金や健康保険などの納付書は各書類ごとに色を決める。それぞれのピクトグラム（絵文字：非常出口マークが例です）を載せ、金額と支出額を明確に記載する。住民登録関係、保育所、学校の書類（奨学金など）、公営住宅なども、手続き自体はほとんど同じですから、共通部分をシンプルでわかりやすい共通フォーマット化する。こうすれば、在住外国人だけでなく日本人にもわかりやすくなりますし、転居先の自治体での手続きにおいても戸惑わなくて済みます。共通フォーマットになれば、各国語の翻訳も同一でできるので、全国の自治体が共有利用できます。

提案を付け加えると、書類だけでなく、電子手続きとしてもこのユニバーサルデザインやナッジ理論（人々が強制的にはなく、よりよい選択を自発的に取れるようにする方法）などに基づいた、わかりやすく簡単で使いやすい方法を取り入れてもらえたらと思います。

国が音頭を取らないのなら、例えば都道府県や広域圏単位で取り組んでみることはできないのでしょうか。

行政、デザイナー、広報のプロの力を期待しています！

告知／ 報告会「コロナ禍における外国人～コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究報告から～」を開催します

コロナは世界中で猛威をふるい、人々の生活に大きな影響を与えていますが、地域で暮らす外国人にはどういった影響があったのでしょうか。豊中市とよなな国際交流協会は、研究者や行政や関係団体、市民団体、外国人コミュニティなどととも委員会を立ち上げ、アンケート&インタビュー調査を行いました。

この報告会では委員会の座長の榎井緑さん(大阪大学)、副座長の高谷幸さん(東京大学)に加え、永吉希久子さん(東京大学)を登壇者に迎え、コロナが地域で暮らす外国人にどのような影響を与えたか、これから地域でどのような取組が必要か考えます。ぜひ、ご参加ください。

【開催概要】

日時：2月20日（日）14:00～15:30

※zoom開催

右下の二次元コードからzoomにアクセスし、

ID：94899584293

を入力して、ご参加ください。

事前の申込は不要です。

※ATOMSウェブサイトにもURLを記載しています。



告知／ メディアリテラシー入門講座 子どもとメディア

2000年から毎年開催しているメディアリテラシー講座。メディアの多様化が進む今、情報を主体的に読み解く力がますます重要になっています。

今年度は子ども・若い人たちとSNSやYoutubeなどのメディアとの付き合い方を考えます。子どもとメディアに関心のある方、教育関係者など、どなたでも気軽にご参加ください。(協会職員・石田みどり)

【開催概要】

日時：3月5日（土）14:00～16:00

講師：登丸あすか（文京学院大学）、田島知之（京都府立大学）

定員：12人

参加費：無料

保育：1歳～未就学児、定員5人

（2月26日（土）までに要申し込み。無料。）

2022

2月 の事業開催カレンダー

※コロナウイルス感染症対策のため、予告なく変更となる場合があります。
記載のない定例事業については、とよなか国際交流協会にお問い合わせください。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
31 もっど 相談	01 おやこ 相談 こんばす	02 休館日	03 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	04 金あさ にこにこ 相談 こんばす 入園準備説明会 11:00~12:00	05 相談	06 がちゃ 南部
07 もっど 相談	08 おやこ 相談 こんばす	09 休館日	10 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	11 建国記念の日	12 相談	13 がちゃ 母語 サンプル 若者 南部
14 もっど 相談	15 おやこ 相談 こんばす	16 休館日	17 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	18 金あさ にこにこ 相談 こんばす	19 つどい 相談 1日離婚相談ホットライン 10:30~16:30	20 がちゃ サンプル 若者 コロナ調査報告会 14:00~15:30 南部
21 もっど 相談	22 おやこ 相談 こんばす	23 休館日	24 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	25 金あさ にこにこ 相談 こんばす	26 相談 ATOMS振り返り会 10:00~12:00	27 がちゃ 母語 サンプル 若者 南部
28 もっど 相談	01	02	03	04	05	06

※2021年11月~2022年11月末は大規模空調設備工事のため貸室がご利用いただけません。それに伴い、すべての貸室利用を中止いたします。
◆赤字表記の活動については、活動内容を変更している場合があります。詳しい情報については、とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

センターが主催する定例事業

月曜日	もっどもっどつかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象 外国人のための多言語相談	10:00~12:00 11:00~16:00
火曜日	おやこでにほんご(千里・岡町・庄内の各図書館で実施) 外国人のための多言語相談 学習日本語こんばす	10:00~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
木曜日	とよなかにほんご・木ひる 多文化こども保育にこにこ 千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) 外国人のための多言語相談 オンライン日本語	13:30~15:20 13:30~15:30 10:00~11:30 11:00~16:00 19:00~20:00
金曜日	とよなかにほんご・金あさ 多文化こども保育にこにこ 外国人のための多言語相談 学習日本語こんばす	10:30~12:00 10:30~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
土曜日	韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい ※毎月第3土曜日のみ 外国人のための多言語相談	9:30~11:30 11:00~16:00
日曜日	にちょうがちゃがちゃだん こども母語※第2,4日曜日のみ 学習支援サンプルイス 若者のたまりば 南部にほんご(庄内公民館で実施)	10:00~12:00 10:00~12:00 13:00~15:00 17:00~20:00 13:00~15:00

今月のピックアップ

ATOMSふりかえり会を開催します

とよなか国際交流協会(指定管理者)は、年に一度、約30の協会事業にかかわるボランティア有志、スタッフが会して、市民参加型の事業評価会(ATOMSふりかえり会)を毎年開催しています。

これまでは対面で交流会もかねて実施しておりましたが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、2月26日(土)10時~12時にZOOMで開催します。それぞれの事業の1年間の活動を振り返り、当協会の現状や次年度の方向性を確認し、協会事業を全体共有する貴重な場です。

ボランティア以外の方でも、関心がある市民の方はどなたでもオブザーバーとしてご参加いただけますので、下記のメールアドレスよりお申込みください。(定員100人、要事前申込)

申込メールアドレス: atoms@a.zaq.jp

とよなか国際交流センターおしらせ 「こくりゆうだより」第154号(2022年2月号)

発行元・問い合わせ: (公財)とよなか国際交流協会
住所: 〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)

開館時間: 9:00~21:30(水曜休館)
TEL: 06-6843-4343 FAX: 06-6843-4375
E-Mail: atom.s@a.zaq.jp WEB: http://www.a-atom.s.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!
「とよなか国際交流センター」で検索!

